

経済倶楽部便り

◆東京◆ 経済倶楽部もあと6年で100周年を迎えます。この間、政治、経済、国際問題、サイエンス、医療などにおける様々な課題や最新情報を提供してきました。各講師の講演で痛感するのは問題点の指摘は実には的確ですが、解決策となるとトーンが弱くなることが多々あります。理由は解決策の提案は政治領域に直結するからだと思います。もう少し直接的な表現で言えば既得権に踏み込まざるを得ないわけで、多様な意見を持つ会員向けの講演では無理もないかもしれません。ただ、日本全体ではどうでしょうか。よく言われるようにドイツは憲法で政府の借金には債務ブレーキの規定があります。

また、アメリカでも毎年ように債務上限問題で民主・共和両党がぶつかっています。日本の場合、こうした根本の議論が最近とみにスルーされていくようです。そうでなくとも、いろんな分野でボタンの掛け違いが指摘されています。活発な議論を通じてこうした課題が解決されるのか。簡単ではないと思いますが、解決策を出すことが今や日々迫られて来ています。その意味でも、的確な解につながる講演会が今後も望まれます。

6月の講師はみずほ証券チーフマーケット・エコノミストの上野泰也氏、ジャーナリストの下山進氏、東洋経済新報社編集局報道部記者の石阪友貴氏、笹川平和財団上席フェローの渡部恒雄氏を予定しています。

(日暮)

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2025年5月号)

2025(令和7)年5月20日発行

本書内容の複写・複製・転載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 山田 徹也 編集人 日暮 良一

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1 (東洋経済ビル9階)

電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987

e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>

印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉